



## 2019年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月15日

上場会社名 株式会社PKSHA Technology  
 コード番号 3993 URL <https://pkshatech.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 上野山 勝也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 中田 光哉

TEL 03-6801-6718

四半期報告書提出予定日 2019年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期第2四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	1,110	54.4	398	16.1	389	14.7	250	11.5
2018年9月期第2四半期	719		343		339		225	

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 277百万円 (23.6%) 2018年9月期第2四半期 224百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	9.41	8.80
2018年9月期第2四半期	8.76	8.15

(注) 1. 当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 2017年9月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2018年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	7,025	6,503	92.5
2018年9月期	6,734	6,201	92.0

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 6,501百万円 2018年9月期 6,198百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		0.00		0.00	0.00
2019年9月期		0.00			
2019年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	66.3	900	51.0	890	51.3	615	0.6	23.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期2Q	26,793,600 株	2018年9月期	26,487,800 株
期末自己株式数	2019年9月期2Q	株	2018年9月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期2Q	26,670,567 株	2018年9月期2Q	25,703,286 株

(注) 2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について)

当社は、2019年5月16日(木)に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。

この説明会の資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(追加情報)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「未来のソフトウェアを形にする」をミッションに掲げ、主に自然言語処理、画像認識、機械学習/深層学習技術に関わるアルゴリズムソリューションを展開しております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの属する人工知能(AI)技術領域では、アルゴリズムの活用による既存ソフトウェアの高度化、効率化を目指すニーズの高まりを受け、市場環境は良好な状況が続いております。

こうした環境の中で、当社グループは新規案件の獲得およびアルゴリズムライセンスの積み上げを推し進めるとともに、アルゴリズムソフトウェアを拡販してまいりました。また、アルゴリズムソフトウェアのラインアップ拡張を目的として、自社ソフトウェア開発等の先行投資に取り組みました。

同時に中長期の成長を見据え、当社の連結子会社である株式会社SapeetのSapeet 3Dモジュールの顧客導入に取り組むとともに、「PKSHA SPARX アルゴリズム 1号投資事業有限責任組合(以下、本ファンド)」を設立し、運用を開始しました。本ファンドの運営は、当社の連結子会社である合同会社PKSHA Technology Capitalとスパークス・グループ株式会社の子会社であるスパークス・AI&テクノロジーズ・インベストメント株式会社が共同であります。本ファンドは、知能化技術周辺領域の国内および海外企業を投資対象としており、未来のソフトウェアを形にするための要素技術/ソフトウェアを開発する企業群でポートフォリオを組む事で、未来のソフトウェアの社会実装を加速させることを目的としております。

加えて、引き続き優秀な人材の採用を積極的に進めており、当第2四半期末時点における従業員数は連結88名(子会社役員含む)となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,110,160千円(前年同四半期比54.4%増)、営業利益は398,748千円(前年同四半期比16.1%増)、経常利益は389,663千円(前年同四半期比14.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は250,969千円(前年同四半期比11.5%増)となりました。

なお、当社グループは「アルゴリズムライセンス事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,025,339千円となり、前連結会計年度末に比べ290,932千円増加いたしました。流動資産は5,112,396千円(前連結会計年度末比600,906千円減)となりました。主な減少要因は、現金及び預金が753,920千円減少したことによるものであります。また、固定資産は1,901,241千円(前連結会計年度末比896,089千円増)となりました。主な増加要因は、投資有価証券が698,740千円増加したことによるものであります。

##### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は521,776千円となり、前連結会計年度末に比べ11,273千円減少いたしました。主な減少要因は、未払法人税等が78,250千円減少したことによるものであります。

##### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は6,503,563千円となり、前連結会計年度末に比べ302,206千円増加いたしました。主な増加要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により250,969千円増加したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は4,611,927千円となり、前連結会計年度末に比べ753,920千円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は129,589千円（前年同四半期は123,181千円の増加）となりました。これは主に、売上債権の増加174,208千円、法人税等の支払額198,248千円を計上したものの、税金等調整前四半期純利益389,663千円があったことによります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は906,191千円（前年同四半期は162,174千円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出619,244千円によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は22,682千円（前年同四半期は22,184千円の増加）となりました。これは、株式の発行による収入24,242千円によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の連結業績予想につきましては、2018年11月14日に公表いたしました「2018年9月期 決算短信」の内容に変更はございません。なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,365,847	4,611,927
売掛金	255,238	429,446
その他	93,706	73,561
貸倒引当金	△1,490	△2,538
流動資産合計	5,713,302	5,112,396
固定資産		
有形固定資産	69,894	192,048
無形固定資産		
のれん	91,353	82,023
その他	182,071	237,246
無形固定資産合計	273,425	319,270
投資その他の資産		
投資有価証券	603,730	1,302,470
その他	58,102	87,452
投資その他の資産合計	661,832	1,389,923
固定資産合計	1,005,152	1,901,241
繰延資産	15,951	11,701
資産合計	6,734,406	7,025,339
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	233,489	155,238
その他	285,000	316,799
流動負債合計	518,489	472,037
固定負債		
その他	14,560	49,738
固定負債合計	14,560	49,738
負債合計	533,049	521,776
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,536,044	2,548,294
資本剰余金	2,535,044	2,547,294
利益剰余金	1,127,541	1,378,510
株主資本合計	6,198,629	6,474,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	26,995
その他の包括利益累計額合計	—	26,995
新株予約権	2,726	2,469
純資産合計	6,201,356	6,503,563
負債純資産合計	6,734,406	7,025,339

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
売上高	719,033	1,110,160
売上原価	250,449	422,848
売上総利益	468,583	687,311
販売費及び一般管理費	125,060	288,562
営業利益	343,522	398,748
営業外収益		
雑収入	532	1
営業外収益合計	532	1
営業外費用		
株式交付費償却	4,250	4,250
投資事業組合運用損	—	4,685
その他	—	150
営業外費用合計	4,250	9,086
経常利益	339,804	389,663
特別損失		
投資有価証券評価損	5,452	—
特別損失合計	5,452	—
税金等調整前四半期純利益	334,352	389,663
法人税、住民税及び事業税	108,986	136,778
法人税等調整額	266	1,916
法人税等合計	109,253	138,694
四半期純利益	225,099	250,969
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,099	250,969

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	225,099	250,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△212	26,995
その他の包括利益合計	△212	26,995
四半期包括利益	224,886	277,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	224,886	277,964



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	334,352	389,663
減価償却費	20,969	44,391
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	4,685
投資有価証券評価損益 (△は益)	5,452	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△130,327	△174,208
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,454	25,246
前受金の増減額 (△は減少)	27,102	△10,698
未払金の増減額 (△は減少)	△4,800	47,340
その他	△12,715	1,566
小計	234,578	327,987
利息の受取額	0	1
利息の支払額	—	△150
法人税等の支払額	△111,397	△198,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,181	129,589
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,120	△138,694
無形固定資産の取得による支出	△48,798	△82,999
関係会社株式の取得による支出	—	△45,268
投資有価証券の取得による支出	△89,307	△619,244
敷金の差入による支出	△11,948	△19,986
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162,174	△906,191
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△1,560
株式の発行による収入	22,184	24,242
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,184	22,682
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,809	△753,920
現金及び現金同等物の期首残高	5,460,278	5,365,847
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,443,469	4,611,927

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、「アルゴリズムライセンス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。